

1/35 アメリカ中戦車 M4A3(76)W 後期型 シャーマン

M4A3(76)Wシャーマンについて

M4シャーマンは1942年の出現当時にはドイツの4号戦車とほぼ互角の性能を有し、機械的信頼性の高さと量産向けのシンプル構造で大量生産され、大戦中期には連合軍の標準戦車としての役目を担っていました。シンプルな車体は内部容積の拡大などには貢献しましたが、反面で被弾時の弾薬の誘爆などによる破壊も頻発し、車体の改修も課題となりました。そこで防御上の問題点とされたドライブスプロードの出っ張りを無くして前面装甲を一枚板として再設計し、弾薬箱の周囲を水で囲うことにより被弾時の誘爆を防ぐ処置が施されました。この湿式弾庫を有する新車体のM4シャーマンには形式名の後に「W」を冠して旧型車体と区別されました。一方でドイツ軍がパンターやティーガーなどの新鋭戦車を戦線に投入すると、従来の75mm砲の劣勢は明らかとなり、対戦車戦闘力を向上させた高初速の戦車砲の搭載が計画されました。こうして開発された76mm砲は後座量の増大に伴って完全に新設計された砲塔に搭載されることになったのです。

またフォード製ガソリンエンジンを搭載するM4A3はガソリンエンジン搭載車としては最も優れているとの評価を得、アメリカ軍向けの主力として量産されました。このような経緯もあり、76mm砲型の量産はM4A1とM4A2(ソ連向け)、M4A3に絞られることになりました。こうして76mm砲型のシャーマンはまずM4A1の後期車体に搭載され、続いてM4A3の後期車体にも搭載されて量産が開始されたのです。M4A3(76)Wの量産は1944年3月から開始されましたが、75mm砲型よりも榴弾の炸薬量が少ない76mm砲型は当初は前線で敬遠され、1944年9月ようやく実戦に投入されました。パンターやティーガーに対抗する本格的な新型戦車としてM26パーシングの開発が行なわれていましたが、配備まではまだ時間がかかり、76mm砲型のシャーマンは強力なドイツ戦車に対抗するには必要不可欠の装備だったのです。最終的にM4A3(76)Wは76mm砲型のシャーマンとしては最も多い4542輛が生産され、連合軍の勝利に貢献したのです。

組み立てを始める前にお読みください



この説明書は1/35 アメリカ中戦車 M4A3(76)W シャーマン後期型 35-043の組み立て説明書です。塗装とマーキングは別紙の塗装説明書に指示してあります。組み立てを始める前に両方に目を通し、全体の流れをよく把握しておいてください。

- このキットは2種類の塗装例を選べますが、それぞれで一部仕様が異なります。最初にどの塗装例にするか決めてください。
- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意ください。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意して下さい。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤をご使用ください。

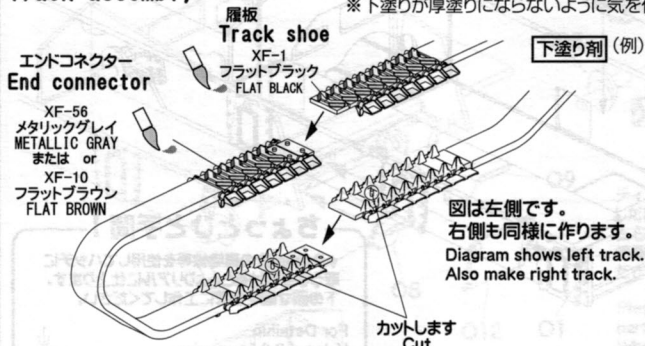
READ BEFORE BULD

- Study the instructions thoroughly before assembly.
- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

Mark guide Do not cement and attn moving. Pay attention. Choose type of vehicle. ・イラスト:モリナガ・ヨウ氏

1 キャタピラの組立

Track assembly



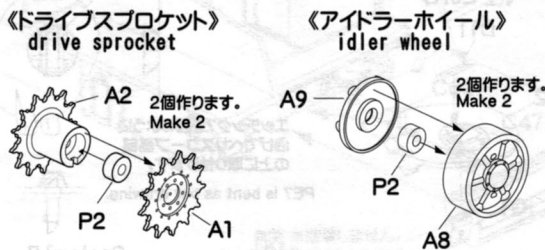
- キャタピラの組み立てには瞬間接着剤をご使用ください。
- 塗装後に強くこすって塗料が取れてしまうのを防ぐために塗装前の下塗りをおすすめします。
- ※下塗りが厚塗りにならないように気を付けてください。
- For track assembly and paint
- For track assembly, please use cyanoacrylate adhesive. ※Using undercoat to keep paints.

Undercoat TAMIYA Surface Primer primer Gaianotes primer series

XF-62 オリーブドラブ OLIVE DRAB
組立図中で特に指示のないところは全て基本色(オリーブドラブ)です。
Where color is not specified please use OLIVE DRAB.

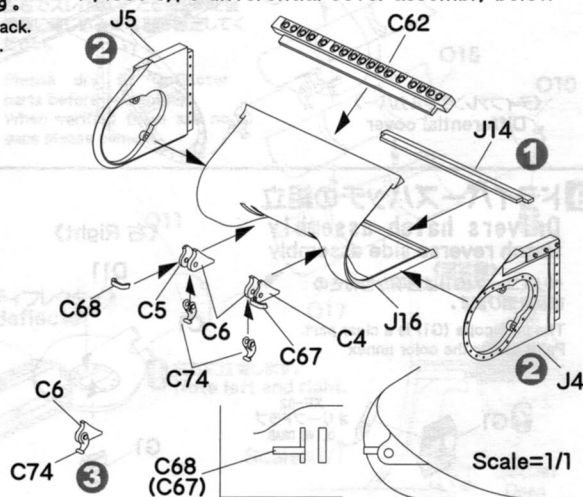
2 ドライブスプロケットとアイドラーホイールの組立

Drive sprocket and idler wheel assembly

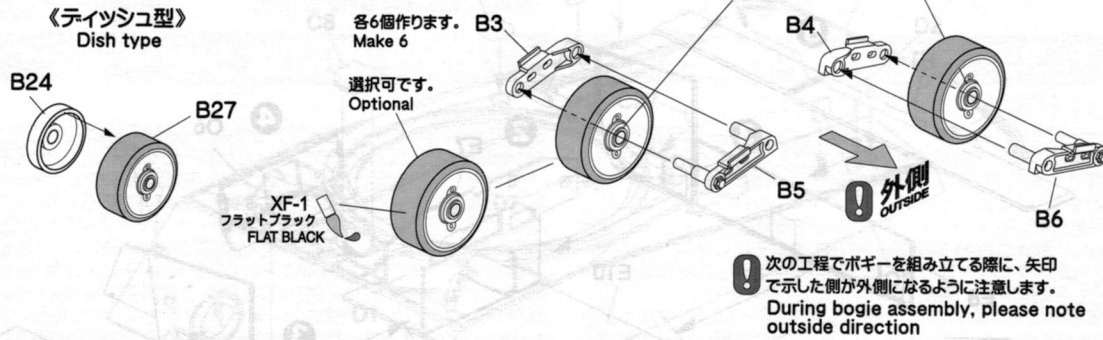


3 テフレンシャルカバーの組立

1 piece type differential cover assembly below

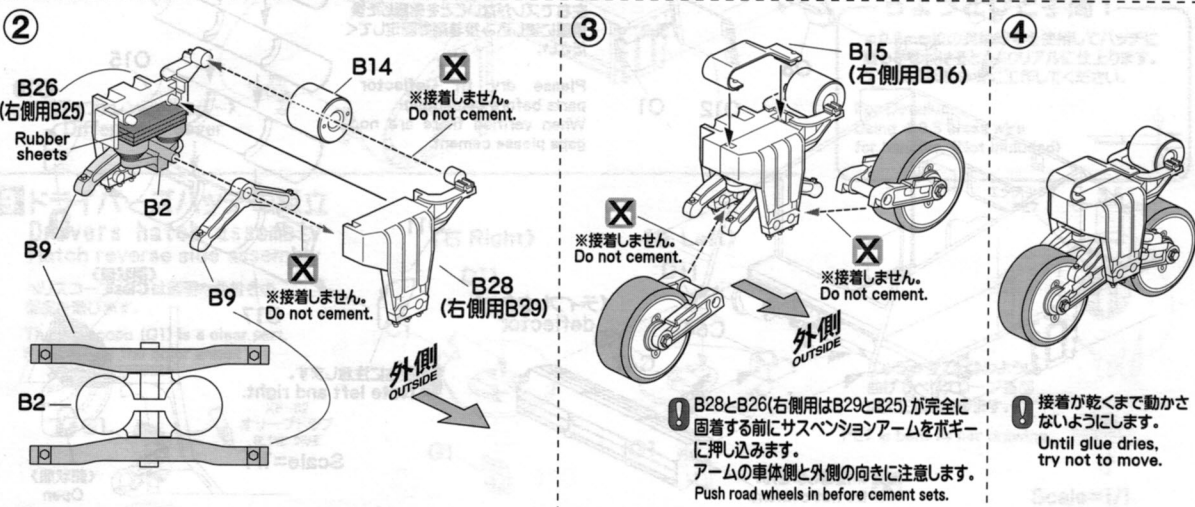
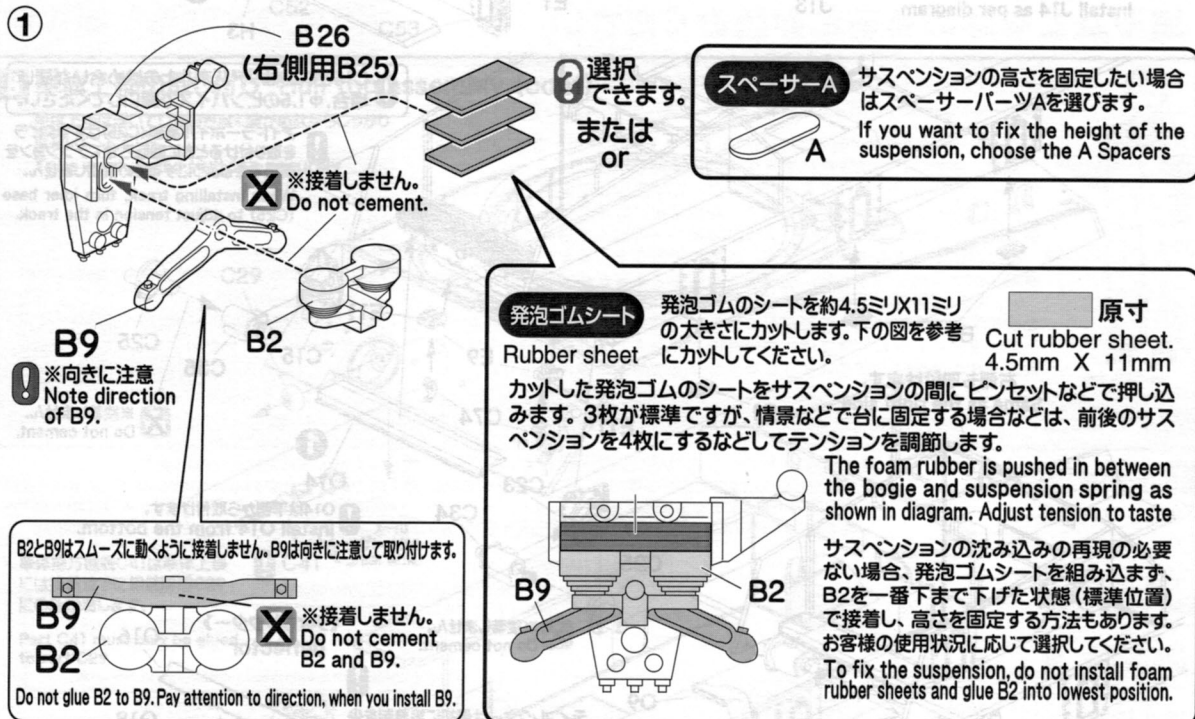


4 サスペンションアームの組立 Suspension arm assembly



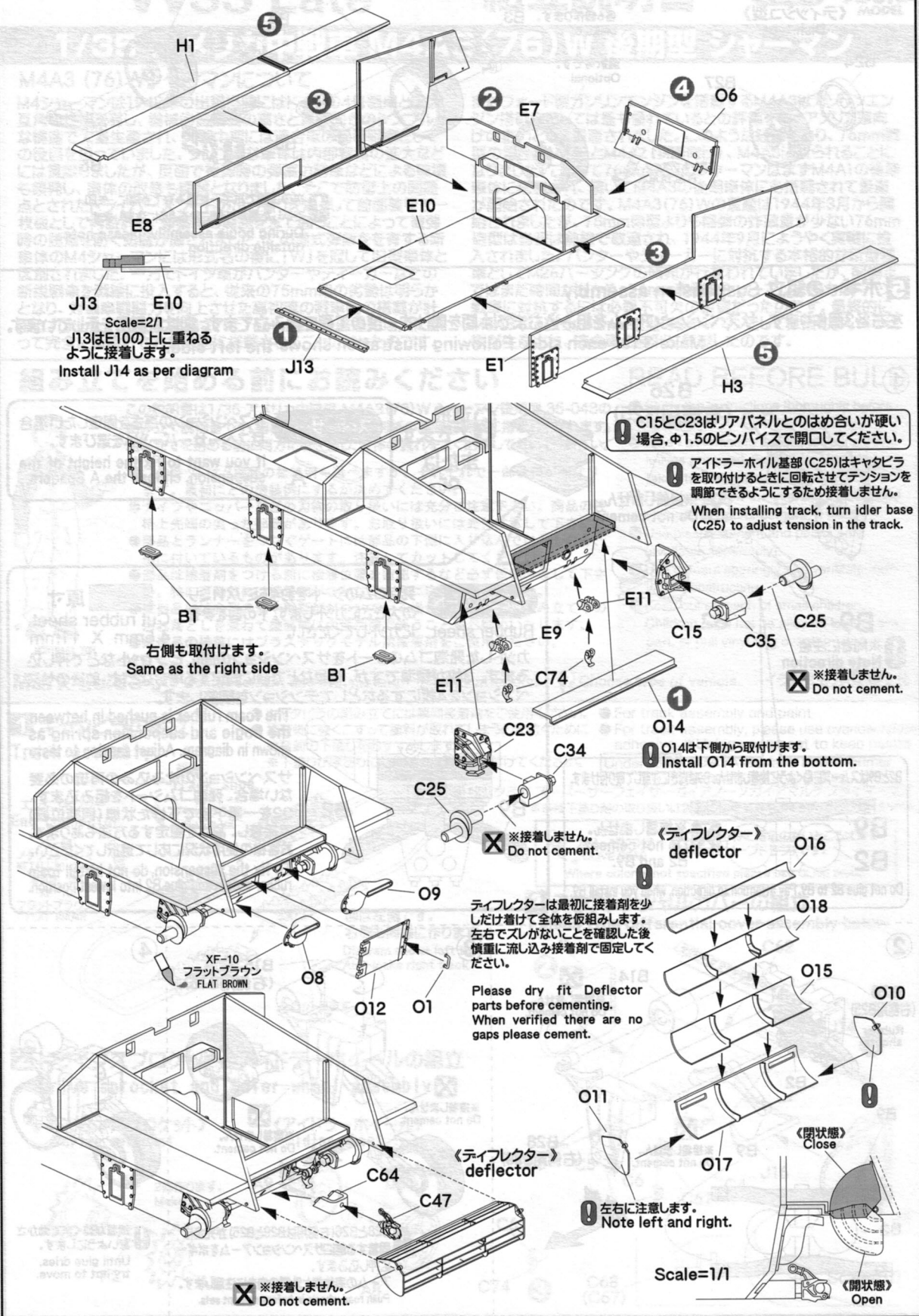
5 ボギーの組立 Suspension assembly

左右各3個作ります。サスペンションアームを組み込むまでは間を開けず一度の工程で組み立てます。図は左側用を示しています。
Make 3 for each side. Following illustration shows the left side.

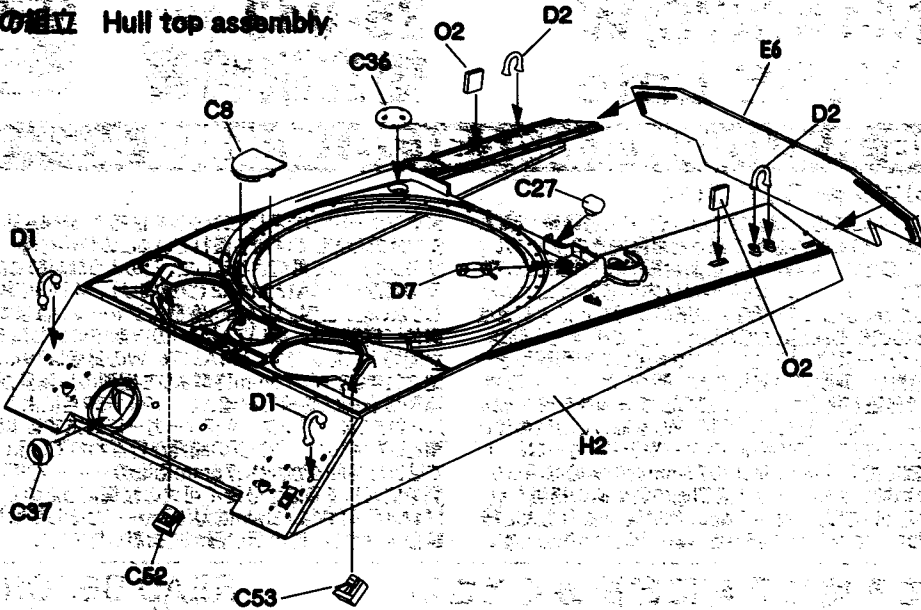


6 車体下部の組立 Hull lower assembly

①から⑥の順番に組み立てます。各 부품の仮組みを必ず行い、接着部分の確認をしておきます。
部品を仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。
この工程は中断せず一度に組み立てて下さい。
Assemble steps ① to ⑥ in sequence. This assembly should be performed without interruption.



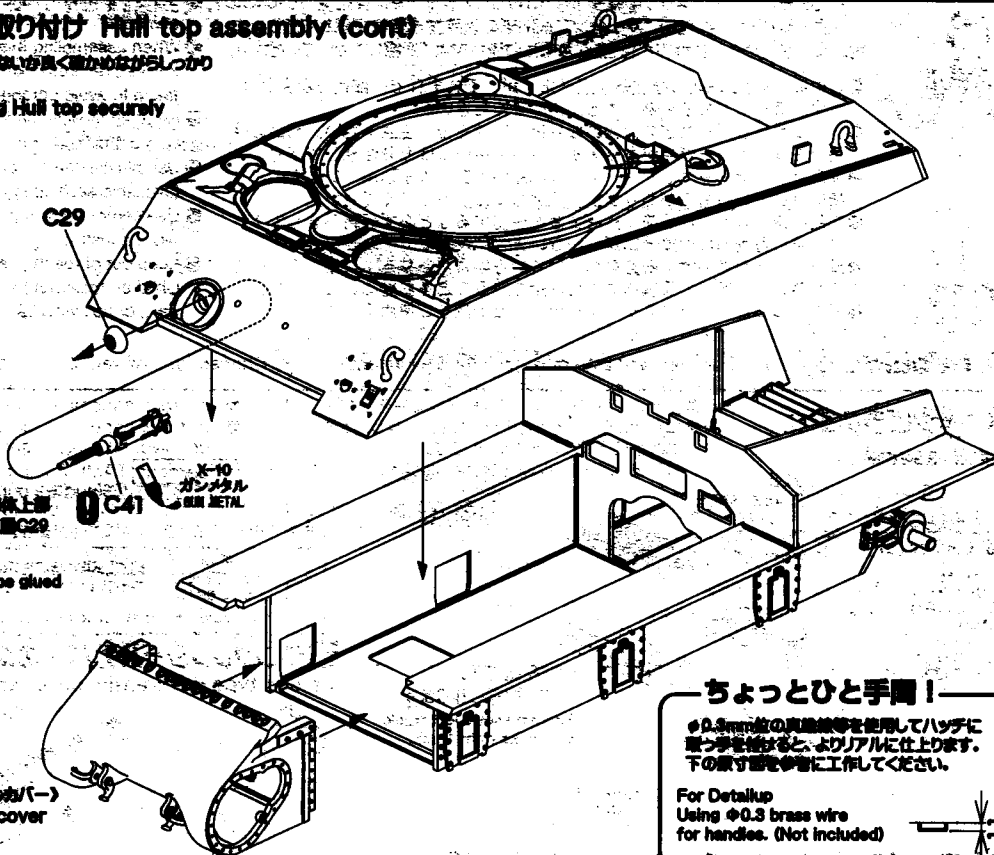
7 車体上部の組立 Hull top assembly



8 車体上部の取り付け Hull top assembly (cont)

車体上部は思い切り強くはめ込みますが、しっかりと接着してください。

Take care gluing Hull top securely



車体前方部C41は車体上部には接着せずに樹脂接着剤C29にのみ接着します。

Part C41 must only be glued to part C29.

(ダイアフラムとカムバー)
Differential cover

ちょっとひと手間!

φ0.3mm位の真鍮線をを使用してハッチに取っ手を付けると、よりリアルに仕上がります。下の取っ手図を参考に工作してください。

For Detailup
Using φ0.3 brass wire
for handles. (Not included)



9 ドライバースハッチの組立 Drivers hatch assembly

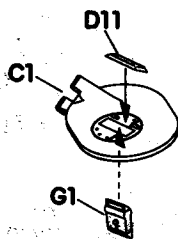
Hatch reverse side assembly

ペリスコープ(G1)は鮮明か色付色の塗装を施します。

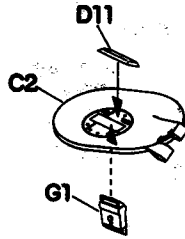
The periscope (G1) is a clear part. Paint as per the color annex



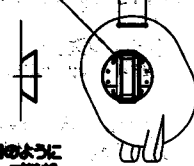
〈右 Right〉



〈左 Left〉



エッチング7
PE7



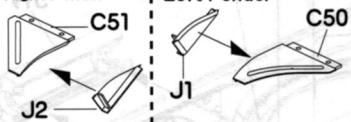
エッチング7を曲のように曲げてペリスコープ基部の上に取り付けます。
PE7 is bent as per drawings.

Scale=1/1

10 車体上部部品の取り付け Hull upper part installation

①～③の順に取り付けます。
Assembly steps ① to ③

〈フロントフェンダー〉Front fender
〈フェンダー右〉Right Fender
〈フェンダー左〉Left Fender



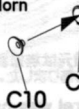
〈フロントフェンダー側面図〉
Note: J1, J2 position



〈ヘッドライト〉
Headlight

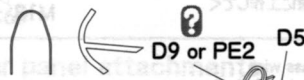


〈ホーン〉
Horn



② 〈ライトガード〉

PE2は下図を参考に曲げて使用します。
PE2 is bent as per drawing.



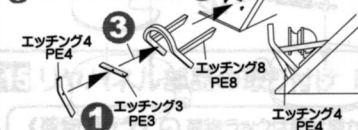
Scale=1/1

〈ホーンガード〉Horn Guard

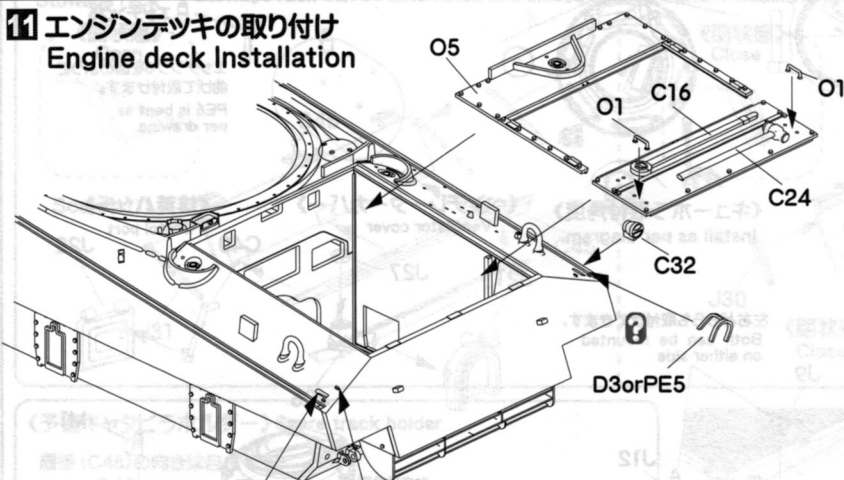
ホーンガードはエッチング3,4,8を組立てたものを使用することもできます。
Construct PE 3, 4, and 8 in order to make Horn Guard

①～③の順に取り付けます。
Assembly steps ① to ③

② C7 or PE3, 4, 8



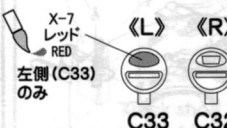
11 エンジンデッキの取り付け Engine deck installation



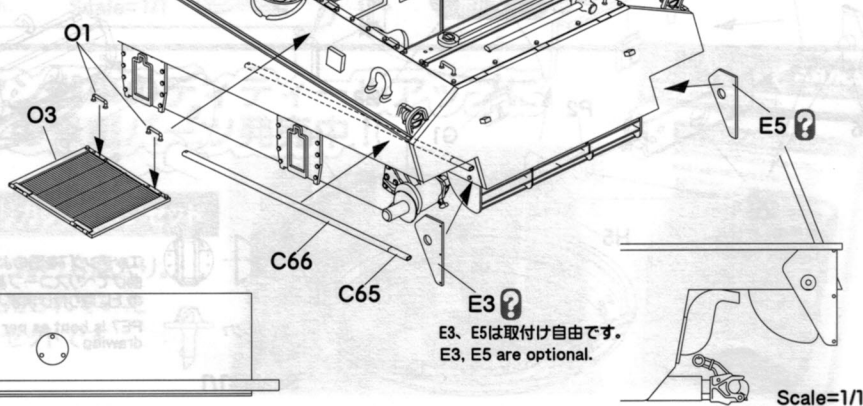
PE5は下図を参考に曲げて使用します。
PE5 is bent as per drawing.



Scale=1/1



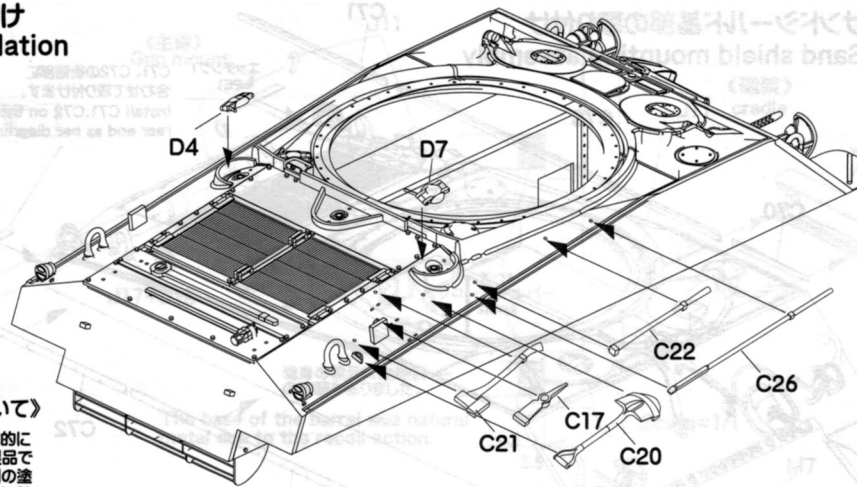
① テールライト (C32・C33) は左右に注意します。
Pay attention to distinguish left part (C33) from right part (C32).



E3, E5は取付け自由です。
E3, E5 are optional.

Scale=1/1

12 車体右側部品の取り付け Hull right side installation

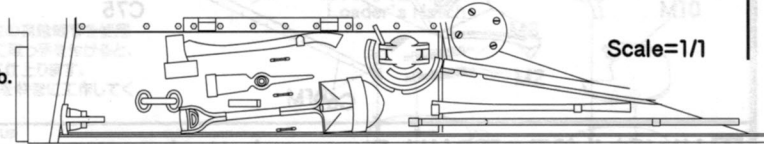


《OVM(車外装備品)の塗装について》

アメリカ軍の軍用車輛の車外装備品は基本的にオリーブドラブで塗装されていました。本製品でも塗装指示は車体色との前提に立ち、個別の塗装指示はしてありませんが、使用中に色がはげたり、汚れなどの表現をすると、単調にならずリアルになるでしょう。

Hull Accessories Painting Guide

American hull accessories were basically olive drab. Even when painted the paint usually came off showing the olive drab or base material.

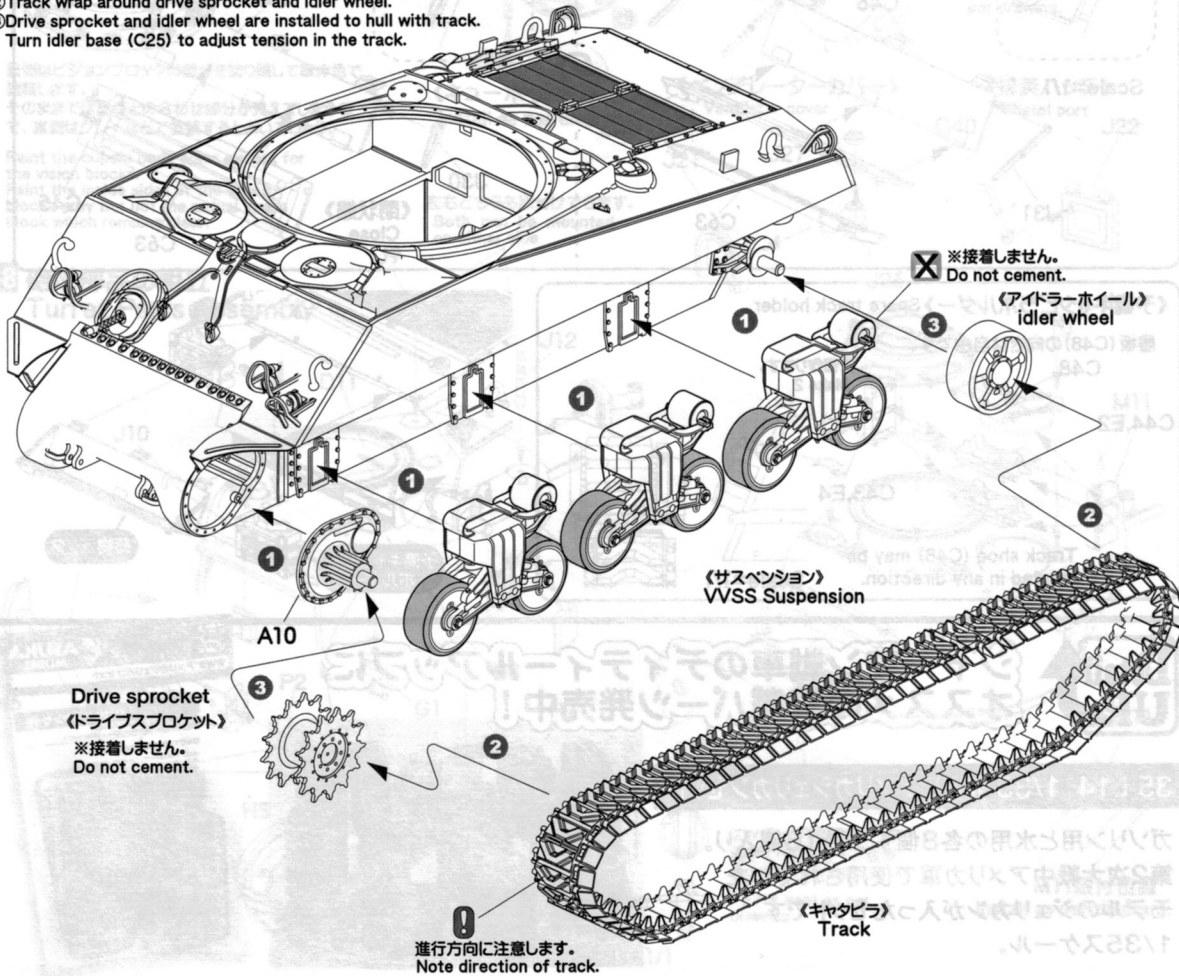


13 キャタピラの取り付け VVSS Suspension

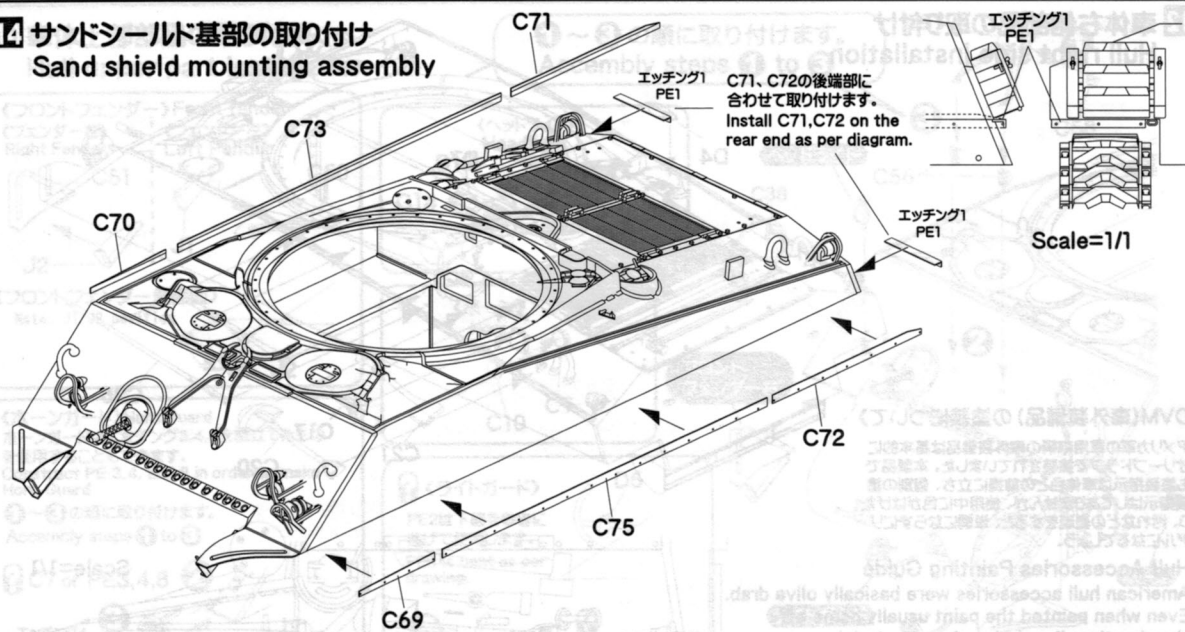
車体にファイナルドライブ (A10) とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。ドライブスプロケットとアイドラーホイールにキャタピラを巻きつけ同時に基部に差し込みます。アイドラーホイールの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。右側も同様に取り付けます。

《Assemble steps ① to ③》

- ① Install A10 and Suspensions. Allow cement to dry.
- ② Track wrap around drive sprocket and idler wheel.
- ③ Drive sprocket and idler wheel are installed to hull with track.
Turn idler base (C25) to adjust tension in the track.

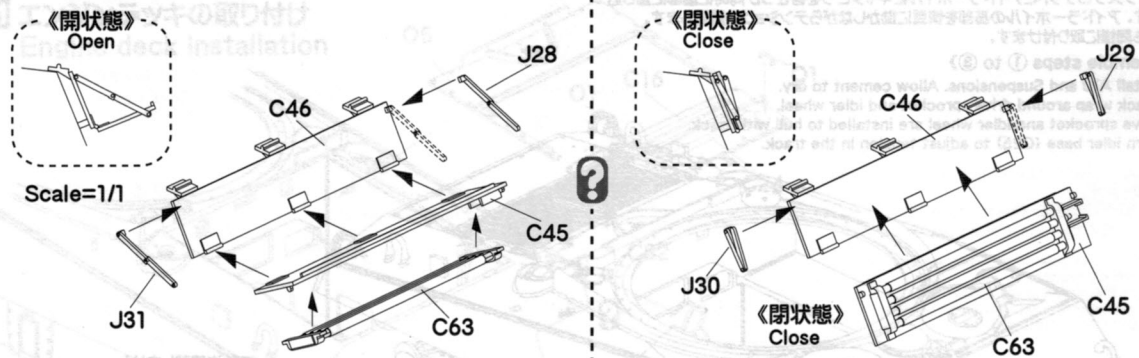


14 サンドシールド基部の取り付け
Sand shield mounting assembly



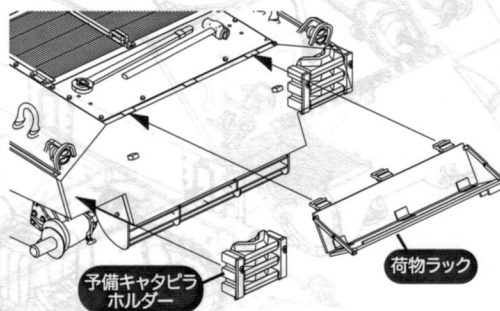
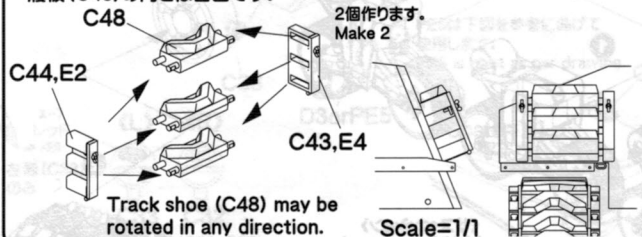
15 リヤパネル部品の取り付け Rear panel attachments.

《荷物ラック》 Stowage rack
荷物ラックは開状態か閉状態を選んで組立えます。各部品的位置を仮組みでよく確認してください。
Stowage rack can be assembled in a closed or open state. Please trial fit each part.



《予備キャタピラホルダー》 Spare track holder

履板 (C48)の向きは自由です。



**Detail
UP**

シャーマン戦車のディテールアップに
オススメの車載パーツ発売中!

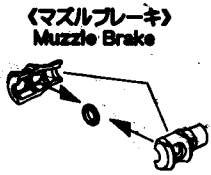
35-L14 1/35 WWII アメリカジェリカンセット

ガソリン用と水用の各8個ずつ計16個入り。
第2次大戦中アメリカ軍で使用されていた
モデルのジェリカンが入ったセットです。
1/35スケール。



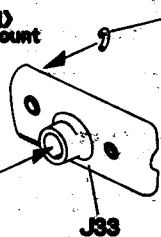
16 主砲の組立
Gun assembly

《マズルブレーキ》
Muzzle Brake



《主砲》
Gun mount

J17+J18

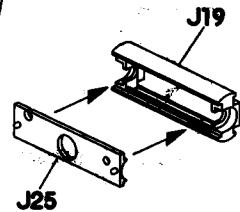


J33



X-11
クロームシルバー
SILVER

《砲架》
cradle



J19

J25

砲身の砲元は発砲時の
衝撃も受けます。

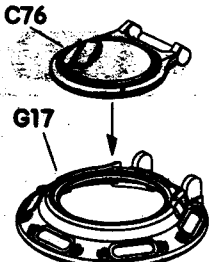
The base of the barrel was natural
metal due to the recoil action.

Scale=1/1

3.5

17 キューポラの組立
Cupola Assembly

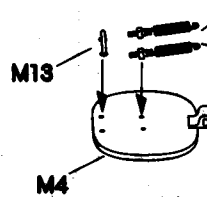
《車長用キューポラ》
Commander's cupola



φ0.3mm位の真鍮線等を使用
してハッチに取っ手を付けると、
よりリアルに仕上がります。
上の取っ手を参考に工作してく
ださい。

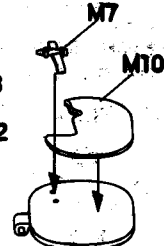
For Detailup
Using φ0.3 brass wire
for handles. (Not included)

《装填手用ハッチ》
Loader's Hatch



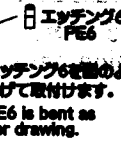
M19

M4



M7

M10



エッチング6
FE6

エッチング6を曲のように
曲げて取付けます。
FE6 is bent as
per drawing.

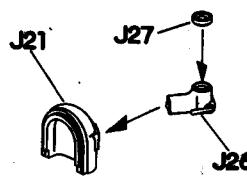
表側はビジョンブロックの部分を塗り剥して車体色で
塗装します。
そのままで仕舞いと合わせ部分が見えちゃうので、
裏側はグレーなどで塗装するとよいでしょう。

Paint the cupola body color except for the
vision blocks.
Paint the inside sides of the vision
blocks grey but not the actual vision
block which remains clear.

《キューポラ取付角度》
install as per diagram.

左右どちらにも取付けても
可です。
Both can be mounted
on either side

《ベンチレーターカバー》
Ventilator cover

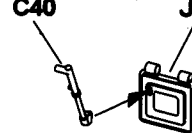


J21

J27

J26

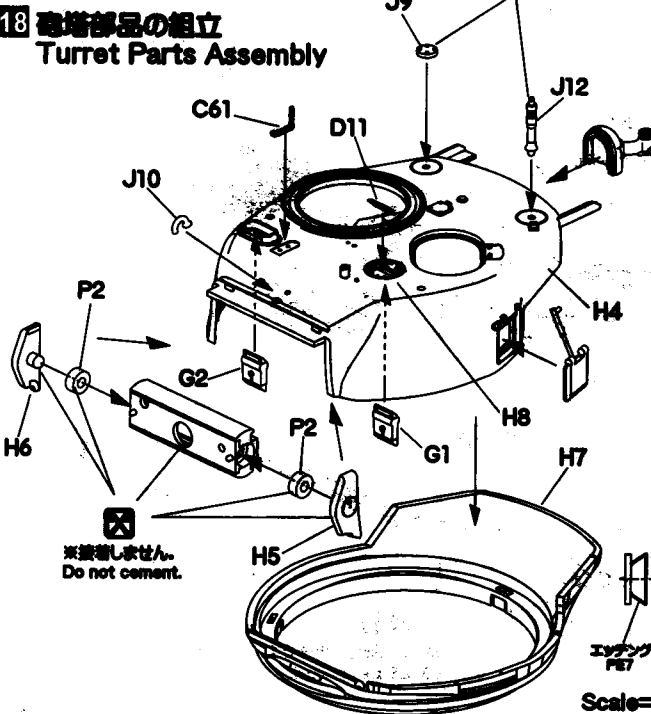
《銃弾ハッチ》
Pistol port



C40

J22

18 砲塔部品の組立
Turret Parts Assembly



※接着しません。
Do not cement.

エッチング7
FE7

Scale=1/1

エッチング7を曲のように
曲げてベリスコープ基部
の上に取付けます。
FE7 is bent as per
drawing

《装填手用ハッチ》
Loader's Hatch

M11取付位置
Install as per diagram.

19 M2重機関銃の組立

M2 Machine Gun Assembly

このページではキューポラ上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。
This page instruction assembles cupola M2 machine gun.

A 機銃本体の組立

Machine gun assembly

ランナーから機銃本体を引き抜きます。
Pull the machine gun itself from the runner.

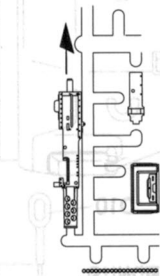
ゲートの跡を整形します。
Gate mark fairing stripe

どちらか選びます。
Choose one

《閉状態》
Closed

《開状態》
Open

どちらか選びます。
Choose one



機銃本体
Machine gun

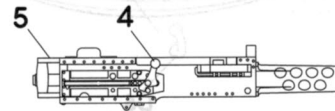
X-10
ガンメタル
GUN METAL

XF-1
フラットブラック
FLAT BLACK
または
XF-10
フラットブラウン
FLAT BROWN

XF-1
フラットブラック
FLAT BLACK
または
XF-10
フラットブラウン
FLAT BROWN

with handle

w/o handle



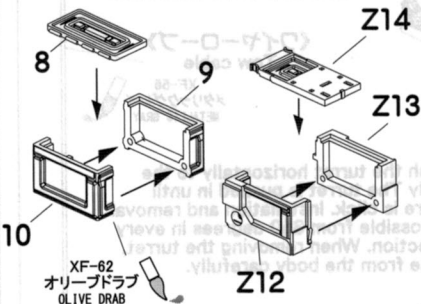
取付位置詳細図
Installation position detail

B 弾薬箱の組立

Ammunition box assembly

《100発用弾薬箱》
100 round ammo box

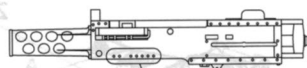
《弾薬箱B》
ammo box B



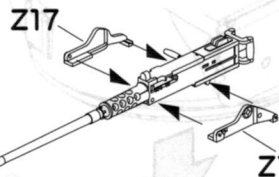
XF-62
オリーブドラブ
OLIVE DRAB

C 揺架の取付

Cradle installation.



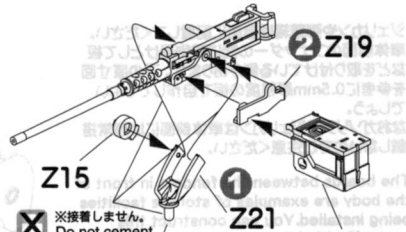
揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。
Shave off rivet pattern.



D 揺架の組立

Cradle assembly

Z19を取り付ける前にZ21を取付けます。
Install Z19 before installing Z21.



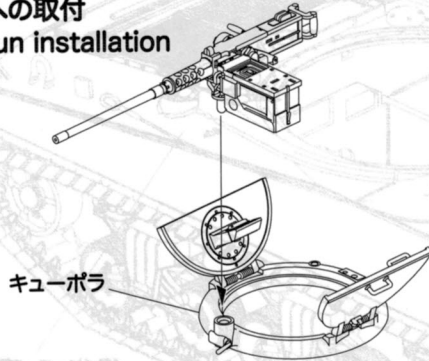
※接着しません。
Do not cement.

《弾薬箱B》
ammo box B

Z21の軸が緩い場合はベンチ等で軽く潰して固さを調整します。
If Z21 axis is loose adjust the stiffness by crushing lightly with pliers

E キューポラへの取付

Machine gun installation



キューポラ

《参考》Reference

機銃は僅かな工作で砲塔後部に収納することもできます。
The M2 Machine gun can be stored at the rear of the turret.

《予備銃身》 本体から取り外した状態で使用する
Spare barrel
ときはこの部品を使います。
Please note spare barrel differs from the main barrel

2



XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

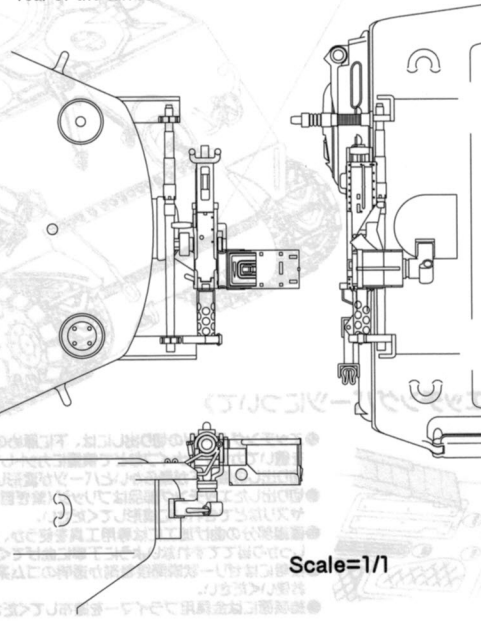
XF-6
コッパー
COPPER

X-12
ゴールドリーフ
GOLD

《弾帯》

Use the steam from hot water and bend slowly by hand to make cartridge belt more realistic. Please don't let the belt bend suddenly.

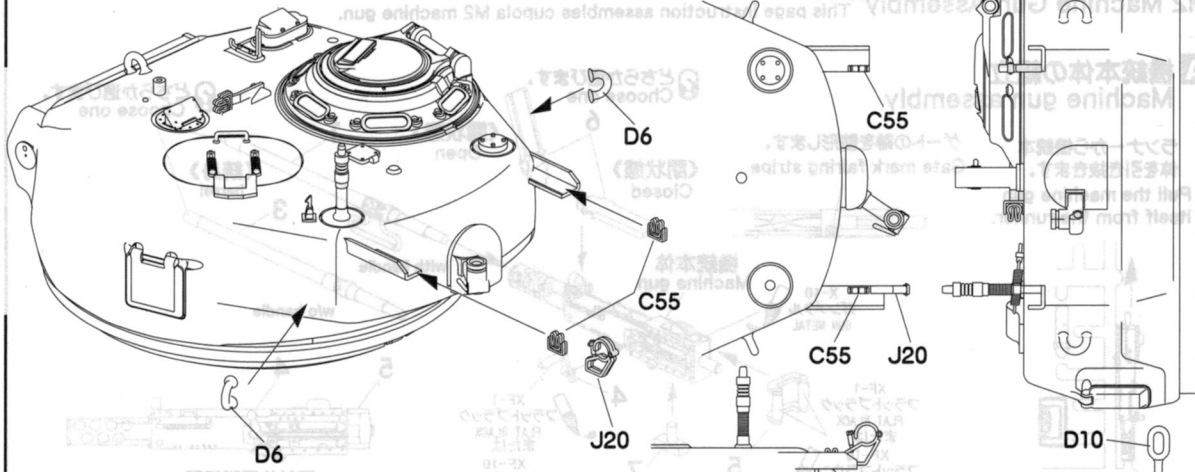
弾帯はお湯に漬けながらゆっくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいのでご注意ください。



Scale=1/1

20 砲塔後部の組み立て Assembling the rear turret

Scale=1/1



21 M4A3(76)W 後期型の完成 M4A3(76)W Late Completion

砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。
360度どの方向からも着脱が可能です。
砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から持ち上げます。

ジェリカンや弾薬箱は自由に配置してください。
車体前面のフェンダーの間に荷物受けとして板
などを取り付けている例があります。下の原寸図
を参考に0.5mm厚程度の板で自作してもよい
でしょう。
なおガソリン用ジェリカンは車体前面には通常搭
載しないのでご注意ください。

The boards between the fenders in front of
the body are examples of storage facilities
being installed. You can construct this
yourself with 0.5 mm boards by referring to
the drawing below.

D6
Z16

ワイヤーロープを取り付ける
場合は、φ0.5ミリ程度の市
販のナイロン紐やワイヤーを
160ミリの長さで切り出し両
端にD10を接着します。

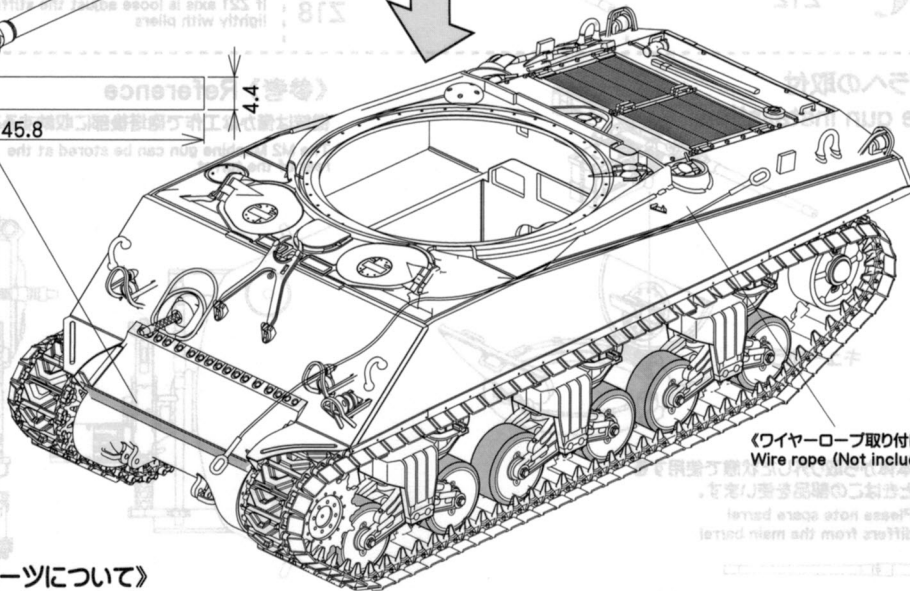
Use either a 160 millimeter
φ0.5 millimeter length of
nylon string or wire.
Glue D10 to the both ends.

《ワイヤーロープ》
Tow cable

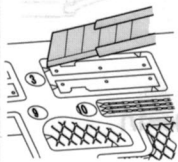
XF-56
メタリックグレイ
METALLIC GRAY

Push the turret horizontally to the
body. The turret is pushed in until
there is click. Installation and removal
is possible from 360 degrees in every
direction. When removing the turret,
raise from the body carefully.

45.8
4.4
Scale=1/1



《エッチングパーツについて》



- エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラスチック板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が柔らかいとパーツが変形します。
- 切り出したエッチング部品はブリッジ(繋ぎ目)の部分をヤスリなどできれいに成形して下さい。
- 直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててずれないように丁寧に曲げて下さい。
- 接着にはゼリー状瞬間接着剤か透明のゴム系接着剤をお使いください。
- 塗装面には金属用プライマーを塗布して下さい。

有限会社アスカモデル
asukamodel.com

〒422-8027 静岡県駿河区豊田3-5-30
有限会社アスカモデル 部品請求係

E-mail info@asukamodel.com
FAX 054-203-2103



ASUKA
MODEL

1/35 M4A3(76)W VVSS Late

1/35 アメリカ中戦車 M4A3(76)W 後期型 シャーマン



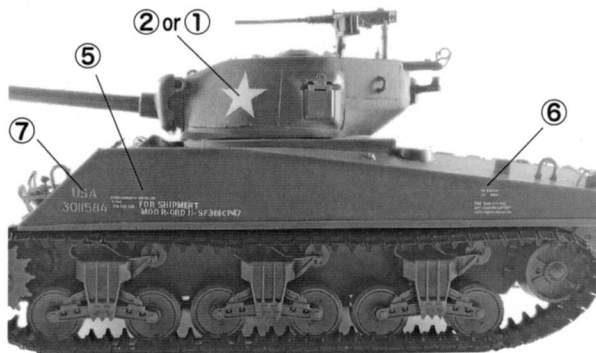
35-043 塗装説明書

組み立てを始める前にお読みください。 Read before construction

この説明書は35-043 1/35 アメリカ中戦車M4A3(76)W後期型の追加説明書です。組み立てに関しては、別紙のアメリカ中戦車M4A3(76)W後期型の組み立て説明書とあわせてご覧頂く必要があります。あらかじめそれぞれの説明書に目を通し、全体の流れを把握してから組み立てて入ってください。

This instruction manual is for the 35-043 1/35 U.S. Medium Tank M4A3(76)W VVSS Late. It is an additional instruction manual for the 1/35 U.S. Medium Tank M4A3(76)W VVSS Late. In regards to assembly, please read this annex carefully and adjust the instruction manual accordingly.

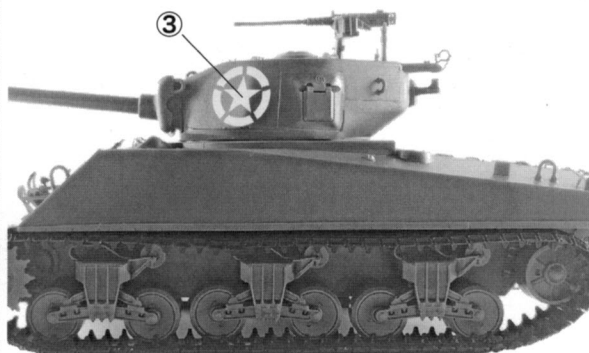
塗装例1 第6機甲師団 1945年 ドイツ 6th Armored Division Germany 1945 Marking Ex. 1.



この車輛の前後にマーキングはありません。
There are no markings on the front or rear of this vehicle.

②⑤⑥⑦それぞれ反対側も同じマーキングです。
Right side same.

塗装例2 第752戦車大隊 1945年 イタリア 752 Tank Battalion, Italy 1945 Marking Ex. 2.



この車輛の前後にマーキングはありません。
There are no markings on the front or rear of this vehicle.

③は反対側も同じマーキングです。
Right side same.

塗装とマーキング

CAMOUFLAGE & MARKING

■M4A3(76)Wの塗装について

第二次大戦中のアメリカ軍車輛の基本色はオリーブドラブの単色塗装でしたが、その色調は生産ロットや時期によってバリエーションがあったようです。ノルマンディ上陸作戦以降の北西ヨーロッパでも基本色はオリーブドラブでしたが、車輛によっては黒または暗い茶色の幅広い迷彩が施されたケースがありました。車輛の前面と側面、上面には国籍マークの白い星が描かれる規定になっていましたが、白い星は前線では非常に目立つため、黒かオリーブドラブで上塗りしたり、剥がしてしまう場合がありました。また車体側面にはU.S.A.で始まる車輛登録ナンバーが書かれていましたが、大戦後半の車輛では消されていたものも多かったようです。また冬季の場合は白い水性塗料による冬季迷彩が施されました。

カラーナンバー対応表

※近似色です

タミヤカラー TAMIYA COLOR	GSI クレオス・Mr.カラー GSI Creos・Mr.COLOR
X-7 レッド	3 レッド
X-10 ガンメタル	28 黒鉄色
X-11 クロムシルバー	8 シルバー
X-12 ゴールドリーブ	9 ゴールド
XF-1 フラットブラック	33 つや消しブラック
XF-6 コッパー	10 カッパー
XF-10 フラットブラウン	131 赤褐色
XF-56 メタリックグレイ	28+30 (黒鉄色+フラットベース)
XF-62 オリーブドラブ	38 オリーブドラブ2

〈不要部品〉 Not used.

- A部品 3,4,7,11,12
- B部品 7,8,10,11,12,13,17,18,19,20,21,22,23
- C部品 11,12,13,14,18,19,28,30,31,39,42,49,59,60
- D部品 8,11,13
- G部品 1,2,4~16
- J部品 3,6,7,8,15,23,24,32
- M部品 5,6,8,9,12,14~18
- O部品 13
- P部品(ポリキャップ poly cap) 1
- Z部品 20,22~29
- エッチング 6

■デカールの貼り方

1. 貼りたいデカールを切り取ります。
2. 切り取ったデカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせます。
4. 台紙の端を持ち、デカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつ押しながら微調整します。
6. デカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったデカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールドなどの表面の凹凸に馴染みにくときは、蒸しタオルや市販のデカール軟化剤などを使用してください。

DECAL APPLICATION

- ① Cut off decal from sheet.
- ② Dip the decal in tepid water for about 10sec.
- ③ Place on a clean cloth.
- ④ Hold the backing sheet edge and slide decal on to the model.
- ⑤ Move decal into position by wetting decal with finger.
- ⑥ Press decal down gently with a soft cloth until excess water and air bubbles are gone.
- ⑦ Until decal dries try not to touch.
- ⑧ It is convenient to use the hot towel and the decal softener to make them fit surfaces of parts.

アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称(番号)、数量を明記の上、メールまたはFAX、お手紙のいずれかでご請求ください。またお客様都合による部品ご請求については、実費で部品をお分けいたしております。右記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

メール / FAX での受付

(Mail) info@asukamodel.com
FAX.054-203-2103

お手紙での受付 / 部品代金の送付先

〒422-8027 静岡市駿河区豊田 3-5-30
有限会社 アスカモデル 部品請求係



有限会社アスカモデル
asukamodel.com